



juwi日本エナジー株式会社社長に加藤伸一が就任

本年7月1日より、juwiグループが100%出資で東京に設立した日本における再生可能エネルギーの開発会社であるjuwi日本エナジー株式会社が業務を開始しました。当社は当初は電力会社クラスの大規模太陽光発電所を開発、権利の買い取り業務などを開始します。その後は、沿岸部での風力発電事業にも範囲を拡大する予定です。

juwi日本の立ち上げにより、juwiは戦略的なプロジェクト開発事業に着手することになります。これまでjuwiは、日本において、合弁事業であるjuwi自然電力株式会社が、主にEPCコントラクター業務と運転およびメンテナンスサービスを幅広く日本で提供していましたが、同合弁事業引き続き事業を継続します。

juwi日本の立ち上げは、ファイナンスとエネルギーの専門家である加藤伸一が指揮を執ります。juwi入社前は、彼は2年に亘りアカシアリニューアブルズ株式会社とエクイス・エナジー・ジャパンに於いて事業開発と経営管理を担当していました。当業界の前には、30年以上の長きに亘り、彼は銀行業界に於いて、さまざまな銀行を経験しています。日本の三井住友銀行を経て、フランスのクレディ・アグリコルCIB、GEキャピタル、そして東京スター銀行へと移り、執行役CFOや、レバレッジドファイナンス、ストラクチャードファイナンスやプロジェクトファイナンスの部門長を歴任しました。

彼は、80年代に銀行員キャリアをスタートさせ、融資引受業務、アレンジ、ファイナンシャルアドバイザー、不良債権ビジネスを経験し、またプロジェクトファイナンス業務においては、様々な業界での経験を有します。特に発電、製油所、LNG施設、石化コンビナート、通信・電話やメディアなどの広い分野でのファイナンス経験と積んでいます。

彼は、1986年に日本の一橋大学を卒業した後、アメリカにおいて、1992年にニューヨーク大学経営大学院からMBAの修士号を取得しております。

今回、加藤伸一は、juwi日本エナジー株式会社のマネージング・ディレクター兼代表取締役として、日本法人の責任者として事業立ち上げの陣頭指揮を執ります。